

JIS A 5548 タイプI **F★★★★**

JAIA 4VOC基準適合

セラミックタイル(陶磁器質 タイル)・石材用弾力性接着剤 **ME-01**

官民共同研究品質基準(案)適合品

2液混合形

ME-01は金属・FRP・コンクリート・モルタル
下地の屋内外壁面に、セラミックタイル(陶磁
器質タイル)や薄物石材を張り付けるのに適し
た、変成シリコン樹脂系弾力性接着剤です。



変成シリコン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容 量		包装形態	梱包単位
15kgセット	A剤	5kg	1セット (コテ付)
	B剤	10kg	

用 途

適 用 箇 所		屋外及び屋内の壁面、プール槽内の壁面 など
適用下地	内装	コンクリート、モルタル、FRP(防水・成形 品)、金属、窯業系サイディング材、けい酸 カルシウム板などの各種ボード類
	外装	コンクリート、モルタル、FRP(防水・成形 品)、金属、窯業系サイディング材
適用仕上げ材		・セラミックタイル(陶磁器質タイル) ・薄物石材

注) 空気の対流が少ない箇所で使用すると臭気が残る可
能性があります。ご使用に際しては当社営業にお問い合わせ下さい。

標準使用量

モルタル・乾式下地	1.5~3.0kg/m ²
	5.0~10.0m ² /15kg
	0.3~0.6m ² /kg

性 質

	A 剤	B 剤
外 観	白色 マスチック状	濃灰色 マスチック状
主 成 分	エポキシ樹脂	変成シリコン樹脂
混 合 比	A剤 : B剤 = 1 : 2	
可 使 時 間	60分以内/23℃	
張付け可能時間	60分以内/23℃	
目地詰め可能時間	24時間以上/23℃	

使用方法

【下地の確認】

- コンクリート・モルタル下地
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週
間)以上養生し、よく乾燥している事を確認します。
- ボード類下地
タワミのない厚手の材料を使用し、目違いや目地あき
のない下地とします。

【下地の清掃】

接着不良の原因となるゴミ・ホコリ・油分・レタンス
などを取り除きます。

チェック：接着不良の原因となる可能性がありますの
で、吸水調整剤などは塗布しないで下さい。

【墨出し】

割り付け図面に従い墨出しを行います。

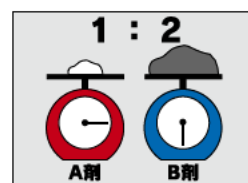
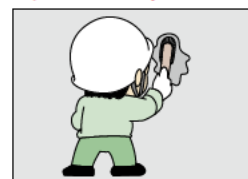
【接着剤の混ぜ合わせ】

1. 接着剤のA剤とB剤を1 : 2 (重
量比)の割合になるように取り
出します。

- チェック：・接着剤を取り出す
時はA剤とB剤では
別々のヘラを使用
して下さい。
・B剤は空気中の水分
の影響により皮張
りを起こしますので、取り出し時以外は蓋
をして下さい。

2. 取り出した接着剤を色が均一になるまで、よく混ぜ合
わせます。

- チェック：・一度に混ぜ合わせる量は可使時間内に使い切
れる量にして下さい。
・一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。
・A剤とB剤がよく混合されていないと接着不
良や石材への汚染の原因となりますので注
意して下さい。



【接着剤の塗布】

1. 接着剤は平ゴテを用いて下地に押し付けるように均一に塗布します。

チェック： 一回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。

2. 接着剤を塗布した後、クシ目ゴテ(右図)を用いてクシ目を立てます。

チェック： 厚塗り・塗布ムラ・薄塗りなどは接着不良の原因となります。

【仕上げ材の張り付け】

1. クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック： 張付け可能時間は環境により異なります。

2. 仕上げ材はもみ込むようにして張り、裏面全体に接着剤がなじむようにビブラートなどの衝撃機具を使用して十分に圧着します。

3. 仕上げ材を適宜剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。

チェック： ・ 接着剤が仕上げ材表面に付着した時は、すぐにシンナーなどを含ませた布で拭き取して下さい。
・ 目地直しは接着剤が硬化する前(張り付け後30分以内)に行ってください。

【養生】

接着剤を硬化させるため仕上げ材張り付け後1日以上外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

1. 目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなく、また、接着剤が硬化していることを確認します。

2. 目地部に目地材を充てんします。

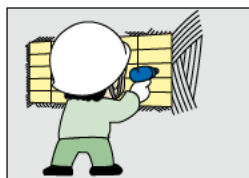
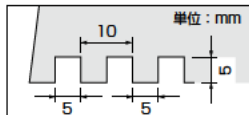
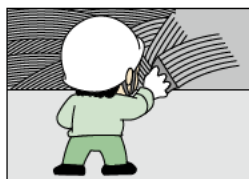
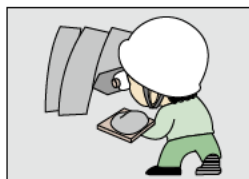
チェック： 伸縮目地部や設備機器との取り合い部には、シーリング材を充てんしますのでセメント系目地材を施工しないで下さい。

3. 表面に残った目地材を拭き取ります。

【端部の処理】

伸縮目地部や設備機器との取り合い部にはシーリング材を設けます。

チェック： シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。



取り扱い上の注意事項

ME-01を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 接着剤が完全に硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
- 接着用途以外に、絶対に使用しないで下さい。
- 塗装面・ガラス面・浴槽内・常時70℃以上となる所には使用できません。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 一度混ぜ合わせた接着剤は保管できません。(混合物は容器にもどさないで下さい)
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業箇所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)
- 可燃性のある成分を含んでいます。使用時・取り扱い場所は火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 混合物(未硬化物)は皮フに触れたり蒸気を吸入すると健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。取り扱い時は保護具を着用して下さい。
- 一度開缶した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗いやウガイ行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器などには使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)またはカタログをご参照下さい。
- ME-01をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所・環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされまようお願ひします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201
FAX: 03-3616-3711
大阪支店 TEL: 06-6386-6141
FAX: 06-6386-6146

名古屋支店 TEL: 052-411-3511
FAX: 052-411-3516
札幌営業所 TEL: 011-717-5216
FAX: 011-717-5217

仙台営業所 TEL: 022-262-5751
FAX: 022-262-5753
横浜営業所 TEL: 045-242-7441
FAX: 045-242-8136

広島営業所 TEL: 082-231-1200
FAX: 082-231-7666
福岡営業所 TEL: 092-451-6503
FAX: 092-481-0621

北陸出張所 TEL: 076-237-7480
FAX: 076-237-6478

大垣工場 TEL: 0584-89-2225
FAX: 0584-89-2080
技術開発 TEL: 0584-89-8111
センター FAX: 0584-87-0010